

特定健診 受診率の向上を

答 受診勧奨やTポイント付与に取り組んでいる

問 過去5年間の平均健診受診率は46%で、受診後の保健指導修了率は72%である。受診率を向上させるための対策は行っているか。

保健福祉課長 保健福祉課と国保年金課が連携して、未受診者と有所見者の各家庭を訪問したり、電話での受診勧奨を行っている。

問 受診のメリットは①自身の健康を知る②保健・栄養指導により生活習慣の改善③生活習慣病や重症化予防と考える。また本町の課題は、①重症化による入院医療費の増大②慢性的な疾患になる前に通院や

生活習慣の改善③65歳未満の死亡率が高い。よって、医療費の抑制に向けて受診率向上は必須であると考えるがどうか。

民生部長 保険者努力支援制度や健診受診者へのTポイントを活用したインセンティブの導入も含めて受診率向上に向けて検討していく。

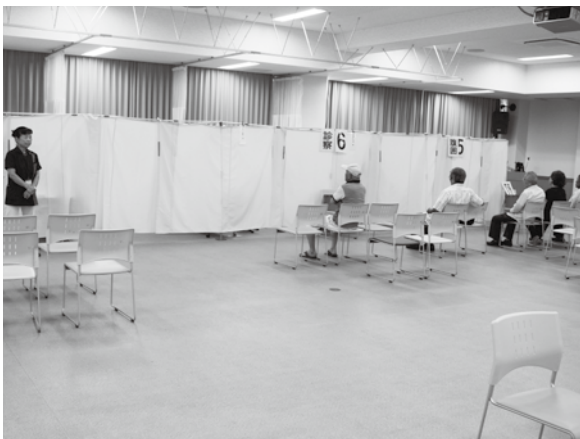
問 ちむぐくる館健康増進室の利用状況と施設の充実を問う。

民生部長 平成29年度の日平均利用人数は83人である。マッサージ機の故障について買い替えも含めて検討している。



新垣 善之 議員

また、国保加入者には、はり・きゅう・あん摩・マッサージ及び指圧の補助利用券も交付している。



ちむぐくる館での集団検診の様子

地域と共に教育の向上を

問 平成27年中央教育審議会答申において、学校運営協議会の設置を努力義務化とあるが、本町の取り組み状況はどうか。

教育長 本町では地域学校協働本部事業（学校応援隊はえばる）が地域全体で学校を支援することで学校教育の充実を図ることを実践し効果を上げている。コミュニティスクールの導入については今後検討していく。

こんな質問もしました

- 生活交通手段（コミュニティバス）の確保を
- 空き家対策を問う